

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年2月17日				
ハッピーテラス水戸教室						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	トレーニングやイベント内容によって、イスや机等の移動をすることで適切なスペースを確保できるよう努めている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	基準に合わせた人員配置をしている。トレーニングやイベント内容によっては、安全を確保するため余裕のある人員配置をするよう配慮している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	トイレには手すりがあり、教室内に段差はない。特性に応じて椅子を変えるなどの対応をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の掃除を徹底し、清潔を保つよう心掛けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	相談室があり、個室ではないが周囲に周知することで個室として使用出来るようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	それぞれが担当している業務内容や業務量を、全職員が把握出来るようにしている。業務の進捗も共有し合い、適宜フィードバックもしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者からの意見を参考にし、可能な範囲で取り入れるよう努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	面談を定期的に行い、意見を聞くようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	本部による研修・評価を定期的にもらっている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	本部開催の勉強会に参加したり、法人内でも専門職員による勉強会を開催しスキルアップに努めている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者と面談を行い、子どもの状態を把握した上で計画を作成している。必要に応じて、子ども本人との面談も行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	全職員がケース会議に出席し、検討をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	必ず共有をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	日誌を書き、その日の様子などを確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	トレーニング担当の職員が考案をした後、全職員と共有・相談をして必要に応じて適宜修正する等して、よりよいトレーニングを提供できるよう努めている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	トレーニングの振り返りを行うことで、よりよい療育を提供できるよう努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	子どもの心身の状況に寄り添い、個別で関わる時間を設けている。	集団療育のため、個別での活動はあまりできていないため、今後中高生講座など、少人数のトレーニングを取り入れていけるよう検討中。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	視覚化できるよう、ホワイトボードを使用しながら毎日必ず打ち合わせをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5	当日中には振り返りをするのが難しいが、翌日の申し送りにて共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々、必ず支援記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	少なくとも半年に一回は更新をしているが、必要に応じてその都度見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6	0	2~3個の選択肢を提示し、自己決定する機会を設けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管と、必要に応じて他職員も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	保護者の要望や必要に応じて、学校などの関係機関との連携をとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校だより等の確認、支援員さんがいる利用者は可能な限り下校時に様子を聞いている。必要に応じて連携をとっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	保護者の要望や必要に応じて、情報共有をしている。おさえん通り教室の利用者様においては、必ず情報共有をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	保護者の要望や必要に応じて、連携をとっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		現在機会を設けることができていないため、交流の機会を確保できるよう検討している。引き続き、公園や公共の場での関わりを増やしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	子ども部会へ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	お迎え時に必ず様子を伝えている。写真や動画がある際には、お見せしながら伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		現在機会を設けられていないので、開催に向けて検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に丁寧に説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者との面談を行った上で作成をしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	内容について詳しく説明をし、納得いただいた上で同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	個別支援計画に伴う面談以外にも保護者の要望に応じて面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		今後保護者参加型のイベントなどを検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	万が一苦情があった場合の対応については整備・周知している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	ハッピーテラス通信を毎月配布し、Instagramにて日々の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	鍵付きのキャビネットを外から見えにくい場所に設置している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルを策定し、事業所内に保管している。訓練も実施している。保護者へは契約時に周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に保護者から確認をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	医師の指示書はないが、保護者からの共有に基づいて可能な限りで対応している。	把握しているが、アレルギーの数値や薬の有無などまで確認が取れていないため、今後調査していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を設置し、マニュアルの整備や研修を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットがあった際には全職員に共有し、議事録に残している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止委員会の設置をし、研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			